

令和6年度 第1学年 技術・家庭科(家庭分野) 年間指導・評価計画(年間35時間)

目標	<p>○生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)生活と技能についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。</p> <p>(2)生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構築し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
----	--

評価の観点:①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に取り組む態度

月	時間	題材名	題材のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4 5	1	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で用いる教材や年間の授業計画を確認し、1年間の活動の見直しをもつ。 ・これまでの家庭生活や小学校家庭科の学習を振り返り、自分の成長や生活が、家族や家庭生活に支えられてできたことを理解する。 	<p>③1年間の授業計画を見通して、計画を立てることができる。</p> <p>①自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。</p>
	2	A 家族・家庭生活◇ 自分の成長と家族 ・今の自分とこれまで ・わたしの生活と家族 ・中学生にとっての家族	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と、家族や地域の人びとのかかわりと、自分自身の理解を深める ・家族との活動を考え、家族・家庭の基本的な機能について、何が大切かを発表しあう。 ・家族には互いの立場や役割があり、協力することで家族関係をよりよくすることができることを理解する。 	<p>①自分の成長と家族や地域の人びととの関わりについて、理解している。</p> <p>②家族、家庭の基本的な機能について、何が大切かを考え発表することができる。</p> <p>③家族関係をよりよくしようと、主体的に取り組もうとしている。</p>
	3	B 衣食住の生活(衣生活)◇ 1、目的に応じた衣服の選択 ・衣服で伝わるメッセージ ・自分らしくコーディネート ・つなげよう和服の文化★ ・上手な衣服の選択	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の社会生活上のはたらきがわかる。 ・自分らしい着方を工夫することができる。 ・和服の文化に関心をもち、和服の着方を知る。 ・自分の衣服計画が立てられる。 ・既製服の選びポイントがわかる。 	<p>①目的に応じた衣服の選択について問題を見だし課題を設定している。</p> <p>②和服の文化に関心をもちようとしている。</p> <p>②生活を豊かにするための衣服計画について考え、工夫している。</p> <p>①既製服選びのポイントを理解している。</p> <p>③これからの衣生活に向けて主体的に取り組もうとしている。</p>
5 6 ◆	5	2、日常着の手入れと保管 ・衣服の手入れ (洗濯実験) ・布の繊維に応じた手入れ ・洗剤のはたらき ・製作に必要な道具と取扱い ・補修や収納・保管 4、持続可能な衣生活☆ ・持続可能な衣生活をめざして	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の状態に応じた手入れの必要性がわかり、適切な手入れができる。 ・取扱い表示の意味を理解し、衣服の素材に適した手入れの方法を選択できる。 ・洗剤のはたらきを理解し、洗濯の仕組みを理解することができる。 ・衣服が傷んだら、痛みの状況に合わせた方法で衣服のアイロンかけや、収納・保管を適切に行うことができる。 ・資源や環境に押領した衣生活をおくるために工夫できることを考える。 	<p>②日常着の手入れの保管について、しみ抜き実験に主体的に課題をみつけ解決しようとしている。</p> <p>①布の繊維に応じた手入れの仕方を理解している。</p> <p>②洗剤のはたらきについて、実験において考察したことを論理的に表現している。</p> <p>①衣服の補修について、用具の安全な取り扱いや方法について理解している。</p> <p>①不用となった衣服の再利用について、考え、工夫している。</p> <p>①持続可能な衣生活の課題がわかる。</p> <p>②持続可能な衣生活について、問題を見だし考えている。</p> <p>③持続可能な衣生活について考え、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。</p>

<p>7 9 10 11 ◆ 12 1</p>	<p>16</p>	<p>B 衣食住の生活(衣生活) 3、生活を豊かにするものの製作 ・製作の基礎・基本 ・布による作品で生活を演出(被服製作)</p>	<p>・布を用いた作品を作ることができる。 ・製作に必要な道具の適切な取扱いができる。 ・まつり縫い、スナップつけなどの技法を習得することができる ・製作を通して、物を作る楽しさを習得することができる。 ・製作を振り返り、製作計画・記録をまとめる。 ・これからの衣生活の中で、不用となった衣服等の再利用について、新たな課題をまとめる。</p>	<p>①マスクケースを計画立てて製作することができる。 ①製作に必要な道具の取り扱いを理解することができる。 ①まつり縫い、スナップつけなどの技法を習得している。 ①製作の記録をまとめることができる。 ②自分の好みを製作に反映し、工夫している。 ③計画を調整して作品を製作し、これからの衣生活に向けて主体的に取り組もうとしている。 ①製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切に製作することができる。 ②生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見出して課題を設定している。</p>
<p>1 2 ◆ 3</p>	<p>8</p>	<p>C 消費生活・環境 1、家庭生活と消費 ・消費生活のしくみ ・家庭生活における収入と支出 2、購入・支払いと生活情報 ・いろいろな購入方法 ・購入前に知っておくこと、売買契約 ・いろいろな支払方法 ・情報を活用した上手な購入 ・暮らしの中のマーク 4、持続可能な社会◇☆☆ ・消費行動が社会に与える影響</p>	<p>・物資とサービスの特徴がわかる。 ・消費生活の仕組みがわかる。 ・収支のバランスをはかり、計画的に金銭管理をする必要があることがわかる。 ・店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。 ・即時払い、前払い、後払いの特徴を理解し、利点と問題点を理解する。 ・生活情報の収集や活用のしかたを理解し、目的に合った商品を選ぶことができる。 ・購入を通して消費者の行動が社会や環境に与える影響について理解する。 ・消費者の行動としてのフェアトレードについて各自ができることを考える。</p>	<p>②物資・サービスの選択と購入について問題を見出して課題を設定している。 ①購入方法や支払い方法の特徴について理解している。 ③金銭の管理と購入について、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ①暮らしにかかわるマークとその見方について理解している。 ①人や環境を意識した消費生活について理解している。 ②人や環境を意識した消費生活について考えをまとめている。 ③人や環境を意識した消費生活について、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。</p>

◆定期考査 ◇道徳 ★オリンピックパラリンピック教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
<p>観 点 の 趣 旨</p>	<p>家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。</p>	<p>これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、思考したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
<p>評 価 の 方 法</p>	<p>・行動観察 ・ワークシート ・定期考査 ・作品やレポート ・小テスト</p>	<p>・行動観察 ・ワークシート ・定期考査 ・作品やレポート</p>	<p>・行動観察 ・ワークシート ・定期考査 ・作品やレポート</p>

学習のアドバイス

- (1)授業態度 タブレット PC を活用した授業が多くなります。話を聞くときは手を止めるなど、緩急をしっかりとつけましょう。
 (2)提出物 提出物は期限を守る習慣をつけましょう。また、提出物の書き方に気をつけると、よいまとめになります。
 (3)題材ごとのふりかえり 定期テストの前にはワークシートやレポートの振り返りをしておきましょう。記述の練習も必要です。